

市民の皆さんと市長との 懇談会

～新都市計画マスタープランの策定に取り組んでいます～

- ①都市計画マスタープランとは
- ②基礎的調査結果
- ③まちづくりの課題・今後の視点
- ④今後の策定スケジュール

①都市計画マスタープランとは

市町村の都市計画に関する基本的な方針(都市計画法第18条の2)

役割

龍ヶ崎市の
将来像を共有する

市の都市計画に
関する方向性を示す

最上位計画の
都市計画を担う

平成11年3月 『龍ヶ崎市都市計画マスタープラン』策定
平成20年7月 一部改定
平成28年 目標年次



新たな都市計画マスタープランの策定

計画期間
H29～H38
(10年間)

策定にあたり、

「市民とともに作るシンプルでわかりやすいプランづくり」

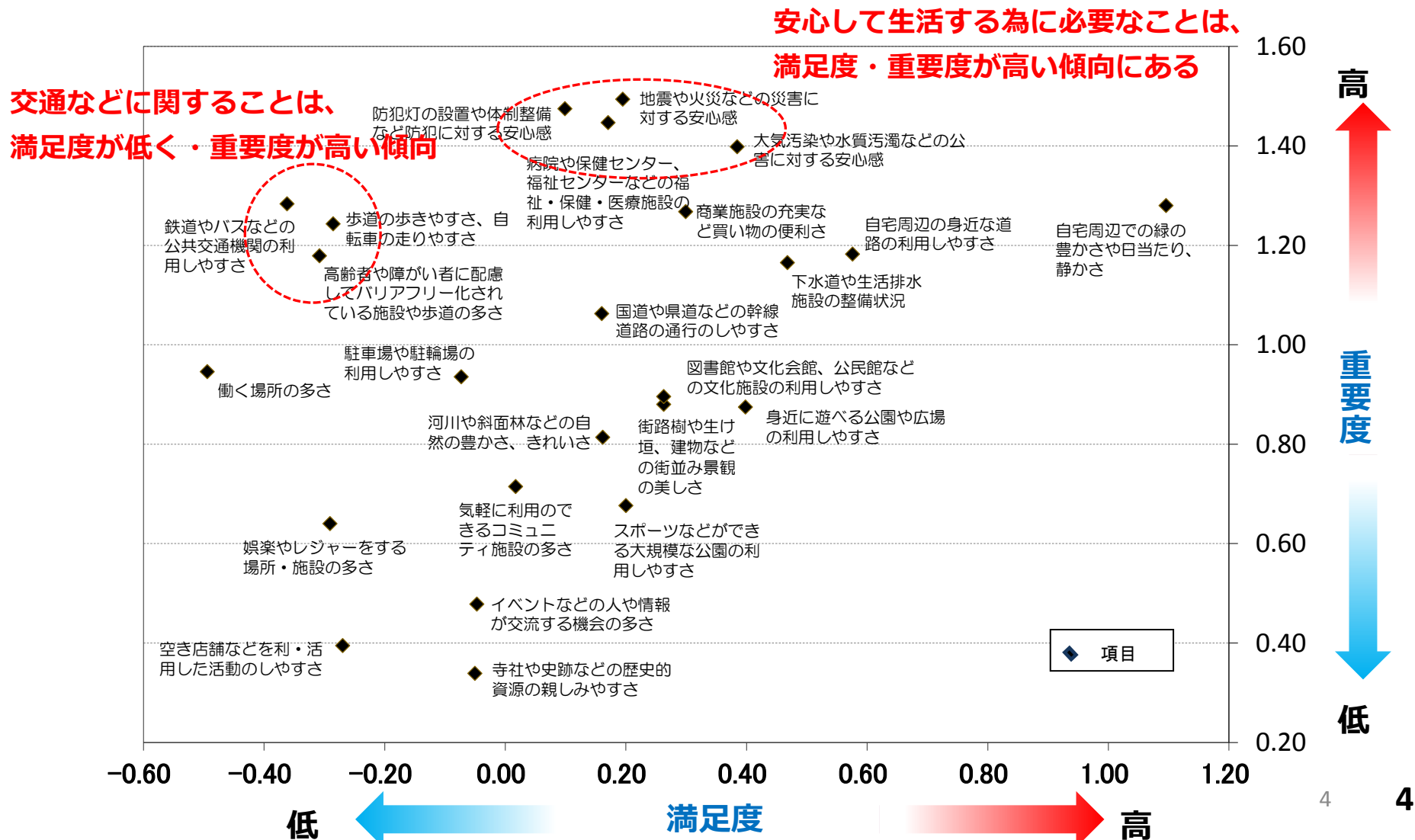
を目指しています。 2

②基礎的調査結果

- 市民アンケート
- まちづくり市民ワークショップ
- まちづくりカフェ
- 団体ヒアリング

■市民アンケートの結果概要

日常生活を送る上で、日ごろ感じていることについて（満足度・重要度）

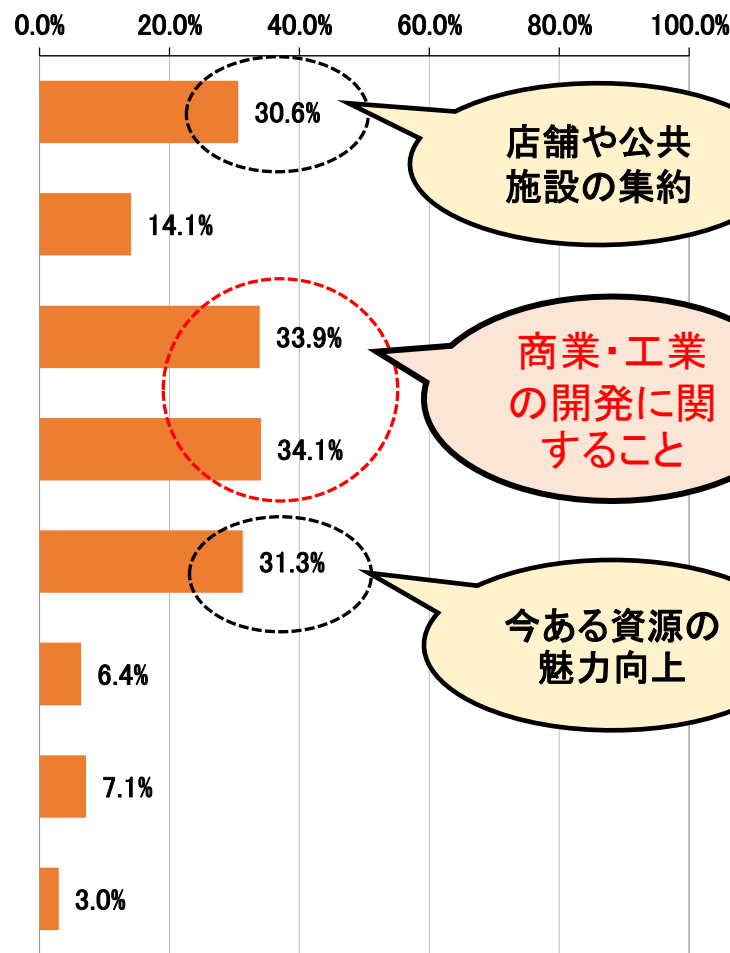


■市民アンケートの結果概要

人口減少に対し、龍ヶ崎市の街の規模はどのようにあるべきと考えるか。

(複数回答)

1	店舗や公共施設をそれぞれの地域の中心に集めたコンパクトなまちづくりを進める
2	市外から移住しやすいように、もっと住宅地の開発を進める
3	新たな魅力の創出のため、商業・業務地の開発を行う
4	安定した暮らしができるように、工業団地など雇用の場を増やす
5	規模は今のままで良いので、まちなみ景観や自然・歴史資源など魅力を高める
6	わからない
7	その他
	不明



■まちづくり市民ワークショップからの意見

龍ヶ崎市に求める機能や意見

①活力ある土地利用 ～世代間、施設間交流の充実～

活発な情報発信、三世代交流の起点の場を
竜ヶ崎駅、商店街活性化を目指すまちづくりを



人々が集い、
にぎわう複合施設
の誘致！

②自然を守る ～豊かな自然との共存～

利用者の拡大、より多くの市民が利用する空間にし、
市外からも利用できる空間へ自然の保全、整備を促
進して自然と共存するまちへ



牛久沼に気軽に
立ち寄れる道の駅
の建設！

③快適な生活 ～だれもが暮らしやすいまちづくり～

交通整備を行い、より住みやすいまちへ



市民活動の
しやすい環境へ

■まちづくりカフェ(地域別ワークショップ)

開催概要

日 時：平成28年2月20日(土) 午後1時～午後5時

場 所：文化会館 小ホール

タイトル：『まちづくりカフェ～地域での生活をより快適にするために～』

募集方法：市民アンケート調査対象者に対して案内を同封

参加人数：市民20名、市若手職員13名



■まちづくりカフェ(地域別ワークショップ)

地域区分図

北部

目標: 高齢者に優しく若者にとって魅力あるまちに!

東部

今が良い時期なので、持続可能な地域→

1. 交流活動・文化づくり
(交流活動ネットワーク)
2. スポーツ施設の活用

西部

方針

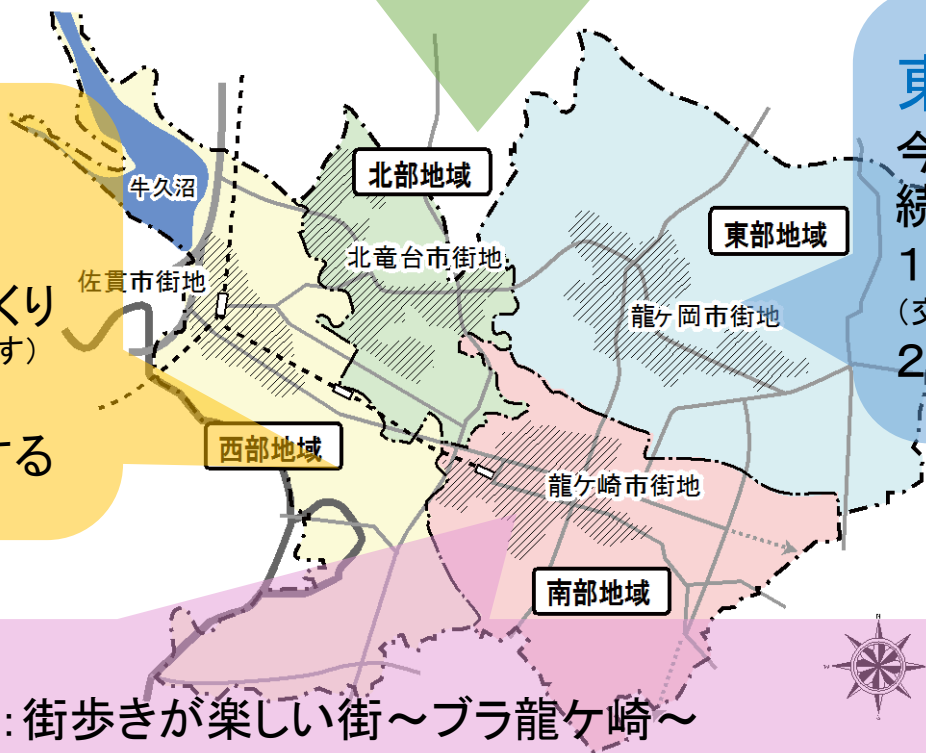
- ☆いなかのまちづくり
(歴史・自然・人の情を活かす)
- ☆顔づくり
- ☆宝物を大事にする

南部

目標: 街歩きが楽しい街～ブラ龍ヶ崎～

■個別の目標:

・歴史と伝統を生かす・ここにしかない商店街の構築・学生を街に呼び込む・歩いて(自転車)で散策したくなる街・竜鉄を生かした交通体系の整備・公園を充実し、交流を図る・農業の活用による街との交流



■団体ヒアリングの実施状況

No	団体名	テーマ	実施日
1	茨城県建築士会龍ヶ崎支部	空家等対策, 建築動向, まちづくり全般	平成28年 1月 5日(火)
2	流通経済大学総務課	土地利用計画, 若者視点, まちづくり全般	平成28年 2月 3日(水)
3	龍ヶ崎市社会福祉協議会	福祉の視点	平成27年11月26日(木)
4	龍ヶ崎市農業委員会	農地保全, 農業視点, 農業活性化	平成27年12月11日(金)
5	茨城県宅地建物取引業協会	不動産需給動向, まちづくり全般	平成28年 2月 5日(金)
6	龍ヶ崎市商工会	商業活性化, 工業活性化,	平成27年12月 7日(月)
7	龍ヶ崎市商工会女性部	商業活性化, 工業活性化, 女性視点	平成27年11月19日(木)
8	龍ヶ崎市商工会青年部	商業活性化, 工業活性化, 若者視点	平成27年11月 5日(木)
9	都市再生機構	まちづくり全般	平成28年 1月 8日(金)
10	茨城県竜ヶ崎工事事務所	県施策動向, 県事業進捗状況	平成27年12月21日(月)
11	防犯連絡員協議会	安心安全, 防犯視点	平成27年11月17日(火)
12	JA竜ヶ崎	農業視点, 農業活性化	平成27年11月18日(水)
13	つくばの里工業団地運営協議会	工業用地需要動向, 工業団地拡張対応	平成28年 1月22日(金)
14	住民自治組織連絡協議会	まちづくり全般	平成27年12月 5日(土)
15	観光物産協会	観光施策, まちづくり全般	平成27年11月17日(火)
16	関東鉄道(株)	公共交通施策動向	平成28年 3月22日(火)
17	学校長会	教育	平成27年12月17日(木)
18	PTA連絡協議会	子育て・教育	平成28年 2月 6日(土)
19	体育協会	スポーツ振興	平成27年12月21日(月)
20	NPO法人県南生活者ネット	まちづくり活動	平成27年12月 9日(水)
21	NPO法人クラブドラゴンズ	スポーツを通じたまちづくり活動	平成27年12月 4日(金)
22	国際交流協会	外国人視点	平成28年 3月12日(土)

③まちづくりの課題・今後の視点

1. 土地利用

現状と課題

- ・地域特性を生かした、都市的快適性と自然環境が調和した質の高い都市空間の形成が必要。
- ・中心商店街の衰退、ニュータウンの段階的人口構成に対応した土地利用ニーズの変化、農地や林地を維持する後継者の問題などへの対応が必要。
- ・団体ヒアリングでは、集落地域の人口維持に向けた取組を求める声も寄せられており、人口減少社会に対応した都市構造への転換も求められている。

まちづくりの視点

- 各地域特性に応じた持続可能なまちづくり
- 買い物利便性の向上
- 質の高い都市空間の創造
- 水・緑など豊かな自然環境の保全・活用

2. 市街地開発

現状と課題

- ・龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略に挙げられている、「新都市拠点開発エリアの土地の高度利用」や「JR常磐線佐貫駅を起点とした賑わいの創出」、「企業誘致策の充実」に対応した基盤整備が必要。
- ・まちづくり市民ワークショップでは、活力ある土地利用として市役所の隣の土地に「人々が集い、にぎわう複合施設の誘致」が提言されている。
- ・まちづくりカフェ（地域別ワークショップ）では、多くの人が佐貫駅周辺の市の玄関口としての魅力向上を求めている。
- ・市民アンケートでは、通勤や買い物などによる昼間人口や、定住による夜間人口の増加に寄与する新しいまちづくりが期待されているとともに、龍ヶ崎市街地の活性化を求める意見も多く寄せられている。

まちづくりの視点

- 市役所周辺の拠点性の向上
- 佐貫駅前空間の魅力の向上
- 企業誘致・雇用の場の拡大
- 龍ヶ崎市街地の活性化

3. 道路・交通

現状と課題

- ・都市計画道路の整備率は93.4%で、近隣市町村や県平均と比べて高い水準。
- ・首都圏中央連絡自動車道の近隣の区間が開通したため、幹線道路を経由して高速交通網と直結した。
- ・市民アンケートやまちづくりカフェでは、日常生活の中での生活道路の適切な整備・維持・管理が求められている。
- ・市民アンケート等において、公共交通の充実を求める声が多く寄せられており、龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、「市内交通網の充実」が主な事業の一つとして挙げられている。

まちづくりの視点

- 生活道路の維持・管理・安全施策
- 暮らしやすさを高める公共交通体系の充実

4. 公園整備

現状と課題

- ・市民一人当たりの都市公園の面積は、 $11.8\text{m}^2/\text{人}$ で、近隣市町村や県平均と比べても高い水準。
- ・市民アンケートでは、身近に遊べる公園や広場の利用しやすさについては、多くの人が満足しており、今後は、現在の整備水準や機能を確保しながら、適切な維持・管理をいかに進めていくかが課題。
- ・公園や広場の維持・管理を、周辺住民との協働で行う、地域に根差した公園づくりを進めていくことが必要。

まちづくりの視点

- 地域に根差した公園づくり

5. 公共公益施設整備

現状と課題

- ・ 龍ケ崎市人口ビジョンでは、今後さらに人口減少が進むことが予測されており、それに対応した都市構造の構築が将来的に必要。
- ・ 平成26年8月に施行された「改正都市再生特別措置法」では、都市機能を集約化するとともに、それらを公共交通機関によりネットワークし連携を図る都市構造を求めている。
- ・ 龍ケ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略では「多極ネットワーク型コンパクトシティの推進」が主な事業として挙げられており、龍ケ崎らしい集約と連携のまちづくりを模索することが必要。

まちづくりの視点

●都市機能の集約と連携による充実

6. 住宅・住宅地

現状と課題

- ・ 全国的な人口減少傾向や都心回帰などの社会状況の変化に加え、竜ヶ崎ニュータウンも入居開始から30年以上経過したこともあり、本市においても空家等が散見されている。
- ・ 団体ヒアリングでは、空家等を活用した若者世代の定住促進に関する要望が寄せられており、空家等の適切な管理と活用を図るための施策展開が期待されている。
- ・ 龍ケ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の一つである「住んでみたいと感じるまちづくり」を進めるため、様々な住宅ニーズに対応できるよう、他分野との連携による横断的な取組を推進することが必要。

まちづくりの視点

- 様々な住宅ニーズへの対応
- 空家等を活用した住居の提供・若者等の居住促進

7. 安全・安心

現状と課題

- ・市民アンケートの重要度では、「地震や火災などの災害に対する安心感」が最も高い値であり、引き続き、災害に強い防災都市の整備を着実、かつ、積極的に推進していくことが必要。
- ・上記に次いで「防犯に対する安心感」が高く、防犯対策についても市民の安心感を高められるよう継続して取り組むことが必要。
- ・今後増加が予想される空家等についても、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づいた施策展開による安全で安心して暮らせるまちづくりが強く求められている。

まちづくりの視点

- 地震や水害などの自然災害や火災などへの備え
- 防犯対策
- 今後増加が予想される空家等の対策

8. 景観整備

現状と課題

- ・龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少に対応するために、目指すべき将来の方向性として、「若者が住みたくなるまち」を目指している。
- ・若者を呼び込むためには、子育て等における安全性や生活利便性はもとより、街の快適性や美しさも必要。
- ・市民アンケートでは、街並み景観や自然景観の美しさについては比較的満足度が高いため、今後ともその維持・保全及びさらなる良好な景観形成に向けての誘導を図っていくことが必要。

まちづくりの視点

- 若者が住みたくなるしやれたまちづくり

9. まちづくりの推進

現状と課題

- ・ 市民アンケートのまちづくりへの参加意向についての設問では、「アンケート調査で充分である」や「議員や市・専門家にまかせる」が上位を占めており、全体としてはまちづくりへの参加に積極的であるとは言えない。
- ・ 公共施設里親制度登録団体数は近隣自治体と比較して充実しているほか、市民活動センター登録団体も増加しており、市民によるまちづくり活動も広がりを見せている。
- ・ まちづくりカフェでは、「地域が今後どうあるべきか、どうすべきか」というテーマに対しても様々な意見・提案があった。
- ・ 今後は、さらなる住民のニーズの多様化や行政だけでは解決が難しい問題も増えていくものと予想され、これまで以上に、協働によるまちづくりを進めていくことが必要。

まちづくりの視点

●協働による自立型のまちづくり

④今後の策定スケジュール

「市民とともに作るシンプルでわかりやすいプランづくり」

平成27年度

平成28年度

基礎的調査

市民アンケート

団体ヒアリング

まちづくりカフェ

市民懇談会

市民
懇談会①
(7地区)

市民
懇談会②
(4地区)

パブリック
コメント

素案

案

10月頃を
予定

12月頃を
予定

新都市計画マスタープランの策定

都市計画審議会